

参考資料

ファームウェアの更新及び色制御データの更新・確認について

2016 年 7 月 8 日

大日本印刷株式会社

1. DS2W-Tools でのファームウェアの書換え手順

DS2W-Tools を使用してファームウェアの書換えを行う手順を以下に示します。

(注意) ファームウェア、色制御データの書換えを行う場合には、ステータスを取得して、ステータスが「Idle」であること(エラーでは無い事)を確認してから書換えを開始してください。また、書換え中はプリンターの電源 OFF、カバー開閉などの操作は行わないようにして下さい。

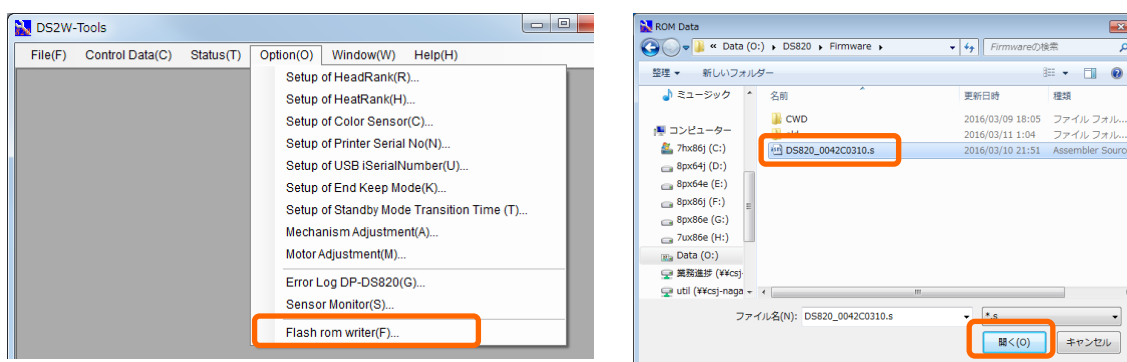
(1) DS2W-Tools を起動

OS 環境に合わせて、「DS2W-Tools32.exe」または[DS2W-Tools64.exe]を起動してください。

(2) ファームウェアの書込み

DS2W-Tools メニュー[Option(O)]の[Flash rom writer(F)]より、書込むファイルを選択し、[開く]をクリックするとファームウェアの書込みを開始します。

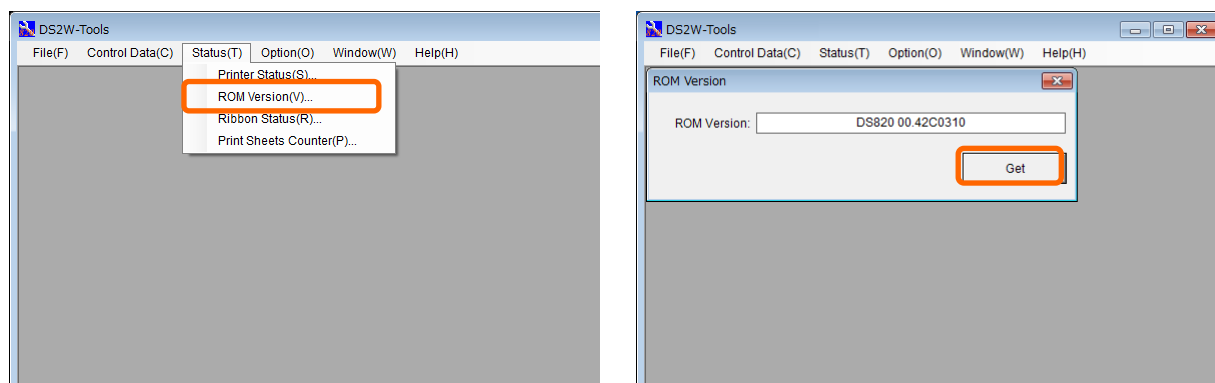
ファームウェアの更新を完了するとプリンターが再起動します。



(3) ファームウェアのバージョン確認

プリンターの再起動完了後に DS2W-Tools メニュー[Status(T)]の[Rom Version(V)]より、ファームウェアのバージョンを確認します。[Get]をクリックするとプリンターからバージョンを取得して表示されます。

(書換え直後、バージョンが取得できない場合は再度 [Get]をクリックしてください)



2. DS2W-Tools での色制御データの書換え手順

DS2W-Tools を使用して色制御データの書換えを行う手順を以下に示します。

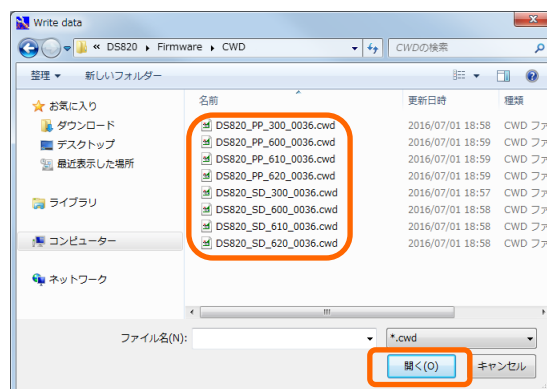
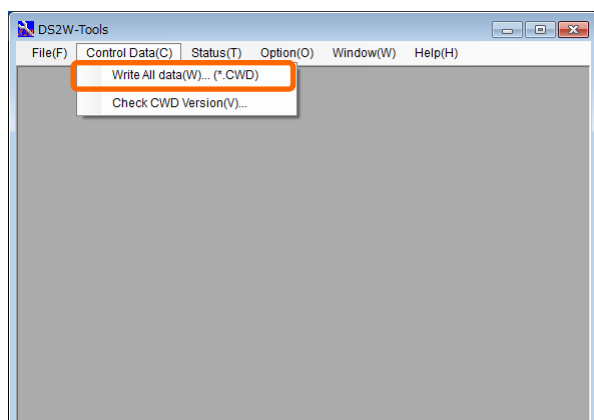
(注意) ファームウェア、色制御データの書換えを行う場合には、ステータスを取得して、ステータスが「Idle」であること(エラーでは無い事)を確認してから書換えを開始してください。また、書換え中はプリンターの電源 OFF、カバー開閉などの操作は行わないようにして下さい。

(1) DS2W-Tools を起動

OS 環境に合わせて、「DS2W-Tools32.exe」または「DS2W-Tools64.exe」を起動してください。

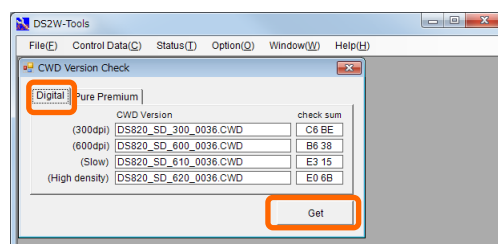
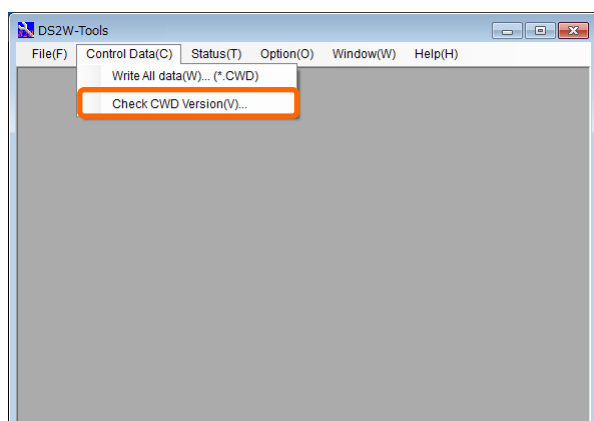
(2) 色制御データの書込み (Digital メディア [SD]、Pure Premium メディア [PP])

DS2W-Tools メニュー[Control Data(C)]の[Write All Data(*.CWD)]より、CWD ファイル選択し、[開く]をクリックすると色制御データを書込みます。(複数ファイル選択可能)

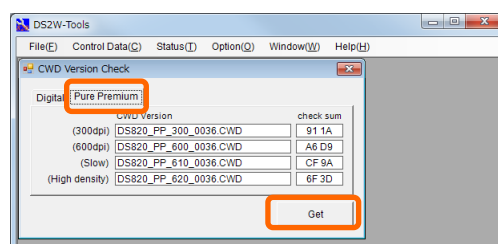


(3) 色制御データのバージョン/チェックサムの確認

DS2W-Tools メニュー[Control Data(C)]の[CWD Version Check]より、書込んだ色制御データのバージョンとチェックサムを確認します。[Get] をクリックすると、各々のバージョンとチェックサムが表示されます。



Digital メディア CWD バージョン&チェックサム



Pure Premium メディア CWD バージョン&チェックサム

3. SDK 使用時の書換え手順

StatusAPI を使用して、お客様がファームウェアや色制御データを書き換える際にも、基本的に前述の手順と同様とし、書換えが正常に終了した事をバージョンやチェックサム(色制御データのみ)で確認してください。

3.1. ファームウェア更新の API 使用例

| | |
|------------------------|-------------------------------|
| ① GetStatus() | ステータスが「Idle」である事(エラーでは無い事)を確認 |
| ② SetFirmwUpdateMode() | ファームウェア書換えモードへ移行 |
| ③ SetFirmwDataWrite() | ファームウェアデータの書込み |
| ④ GetFirmwVersion() | ファームウェアのバージョンの確認 |

3.2. 色制御データ更新の API 使用例

| | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| ① GetStatus() | ステータスが「Idle」である事(エラーでは無い事)を確認 |
| ② SetColorDataClear() | 色制御データクリア |
| メディア種別: SD | |
| ③ SetColorDataVersion() | 300dpi の色制御データバージョンセット |
| ④ SetColorDataWrite() | 300dpi の色制御データ書込み |
| ⑤ SetColorDataVersion() | 600dpi の色制御データバージョンセット |
| ⑥ SetColorDataWrite() | 600dpi の色制御データ書込み |
| ⑦ SetColorDataVersion() | 低速の色制御データバージョンセット |
| ⑧ SetColorDataWrite() | 低速の色制御データ書込み |
| ⑨ SetColorDataVersion() | 高濃度の色制御データバージョンセット |
| ⑩ SetColorDataWrite() | 高濃度の色制御データ書込み |
| ⑪ GetColorDataVersionResEX() | 300dpi の色制御データバージョンの確認 |
| ⑫ GetColorDataChecksumResEX() | 300dpi の色制御データチェックサムの確認 |
| ⑬ GetColorDataVersionResEX() | 600dpi の色制御データバージョンの確認 |
| ⑭ GetColorDataChecksumResEX() | 600dpi の色制御データチェックサムの確認 |
| ⑮ GetColorDataVersionResEX() | 低速の色制御データバージョンの確認 |
| ⑯ GetColorDataChecksumResEX() | 低速の色制御データチェックサムの確認 |
| ⑰ GetColorDataVersionResEX() | 高濃度の色制御データバージョンの確認 |
| ⑱ GetColorDataChecksumResEX() | 高濃度の色制御データチェックサムの確認 |
| メディア種別: PP | |
| ③~⑱を繰り返し | |

上記の例では色制御データのバージョンとチェックサム確認に、GetColorDataVersionResEX()・GetColorDataChecksumResEX()を使用しています。

これらは DP-DS820 で追加した API で、明示的に指定した種類の色制御データを取得します。

従来機種から提供する GetColorDataVersion()・GetColorDataChecksum()も使用できます。

これらの API は取得する色制御データの指定を省略し、プリンターの状況に応じて読み出すデータを判別します。300dpi の色制御データ書込み後には 300dpi のバージョンとチェックサムを読み出し、600dpi の色制御データ書込み後には 600dpi のバージョンとチェックサムを読み出します。低速の色制御データに関しても同様となります。最後に更新・使用した色制御データを取得できます。

低速・高濃度の色制御データは書き込み後のみ確認が可能で、電源投入後や印画後の取得はできません。

GetColorDataVersion()・GetColorDataChecksum()を使用した場合のプリンターの使用状況と読み出される色制御データの種類の関係は次のようになります。

| プリンターの状態 | 色制御データのバージョン &チェックサム |
|-------------------|-------------------------|
| 300dpi 色制御データ書込み後 | 300dpi |
| 600dpi 色制御データ書込み後 | 600dpi |
| 低速 色制御データ書込み後 | 低速 |
| 高濃度色制御データ書込み後 | 高濃度 |
| 電源投入後 | 300dpi |
| 300dpi 印画後 | 300dpi |
| 600dpi 印画後 | 600dpi |